

算数！ さん 算 だより



令和6年11月29日 発行
文教大学附属小学校
校長 島野 歩
算数 堀野 彰彦



2024年も、あっという間に過ぎようとしていますね。
今年を算数で表すなら「素数の年」といえるかもしれません。

夏には「素数ゼミ」が話題になり、
つい最近も、最も大きい素数が発見されたニュースもありました。
今月は、そんな「素数」について紹介します！



そもそも「素数」とは？

「1」と「自分自身」以外ではわり切れない数のことを
素数といいます。



たとえば 2 → 1と2でしかわり切れません(素数) 3 → 1と3でしかわり切れません(素数)
5 → 1と5でしかわり切れません(素数) 7 → 1と7でしかわり切れません(素数)

4 → 1と4以外に2でもわり切れる 6 → 1と6以外に2でも3でもわり切れる なので4も6も素数ではない。
(4÷2=2もできる) (6÷2=3、6÷3=2もできる)

「素数」については、中学校で
くわしく学びますが、
小学生にとってもその考え方は
とても大切です！



2024年の算数ニュース1

もっと
最も大きな素数を6年ぶりに発見！

2を136279841回かけた数から1を引いた数

「 $2 \times 2 \times \dots \times 2 - 1$ 」

136279841回

現在知られている素数の中で最も大きいものであることを、

今年の10月にアメリカの研究者が発見しました！

素数を見つける方法はいろいろありますが、その中のひとつに
2をたくさんかけて1を引くやり方(メルセンヌ数)があります。
この方法で、なんと4100万けた以上の大きな数が見つかりました。



2024年の算数ニュース2

今年の夏に話題になった「素数ゼミ」って？

「素数ゼミ」というのは、素数の年数だけ地面の中でじっとしていて、
その後一斉に出てくる特別なセミです。今年の夏、アメリカにいる2種類の
「17年(周期)のゼミ」と「13年(周期)のゼミ」が221年ぶりに同時に出現
しました。

221年!!

